

6 飾磨ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

飾磨ブロックは、飾磨・津田・英賀保・高浜・妻鹿校区からなる地域です。

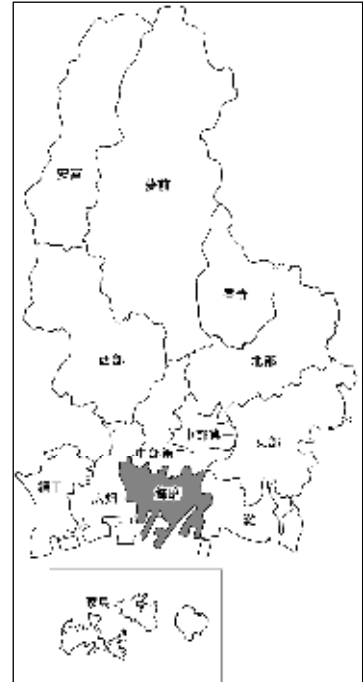
網干から大塩へと繋がる臨海部市街地の東西軸と、野里から姫路駅前を経て飾磨港へと至る都市軸である南北軸の結節点に位置しています。

本地域は、東西に設けられた緩衝緑地により大きく区分され、海側は鉄鋼を中心とした臨海産業地域、内陸側は市街地地域となっています。

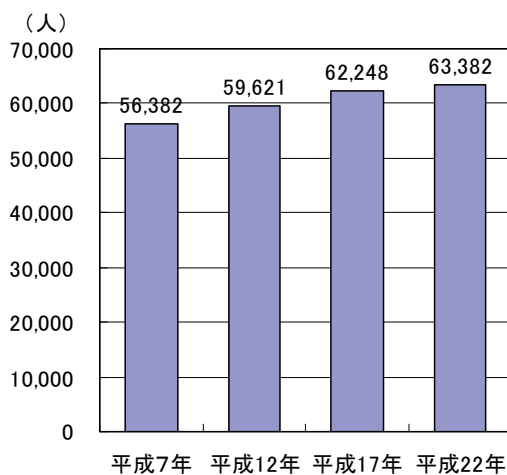
市街地地域では、浜街道沿いに点在する旧集落を中心に、住・商・工が近接した職住複合の市街地が形成され、その周辺部では、おおむね土地区画整理事業と連動した住宅地が形成されてきました。

野田川の河口に開けた旧飾磨港（姫路港飾磨地区）は、かつて飾磨津と呼ばれ、江戸時代は姫路城下の外港として重要な位置を占めていました。また、明治初期の産業道路であった銀の馬車道の発着点でもありました。

戦後の工業化とあわせた港湾施設の整備により、物流機能の強化が進んでいます。また、旅客船ターミナルや家島群島及び小豆島を結ぶ定期船があり、本地域は「海の玄関口」としての役割を果たしています。

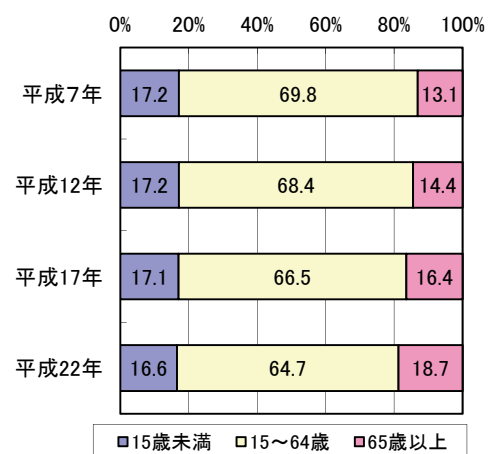


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

住・商・工が調和した住みよい親港都市

③ 地域づくりの目標

◇ **歴史的な魅力を備えた生活環境づくり**

歴史的な港まちとしての側面と、古くから人口の集積と道路等の都市施設が整い、住・商・工のバランスがとれた生活密着型のまちとしての側面を融合し、歴史的な魅力を備え、より身近なところで日常生活が出来るような生活環境の創出を目指します。

◇ **海の玄関口にふさわしい生活と産業が交流する南部副核づくり**

姫路市の海の玄関口にふさわしい生活と産業が交流する南部副核を形成するとともに、南部副核及び親港拠点と地域内外の連携を強化する骨格道路網の形成を目指します。

◇ **快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり**

歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。



旅客船ターミナルと臨港公園（姫路港飾磨地区）



南部副核（飾磨支所）

（2）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 副核（南部副核）

- ・山陽飾磨駅周辺地区を位置付けます。
- ・地域の拠点として、交通結節機能の向上や商業機能の充実、居住環境の改善を図るとともに、港町の歴史的景観を生かした魅力的な都市空間の保全、創出を図ります。また、主核を補完する行政機能、商業・業務機能、市民活動の場を備えた拠点の形成を図ります。

（交通環境の改善）

- ・山陽飾磨駅周辺地区では、踏切での慢性的な交通渋滞が発生し、地域住民の生活や交流活動、経済活動等に支障をきたしているため、幹線道路（飾磨幹線、鹿谷田線）等の整備による交通環境の改善を図ります。

イ 親港拠点

- ・姫路港飾磨地区を位置付けます。
- ・地域の資源を生かした観光・交流ネットワークの形成を図るため、ポートセールスの取組強化等を促進します。

ウ 歴史街道軸

- ・本地域には、城趾等の遺跡・史跡、港町の情趣ある町並みなど多様な歴史文化遺産があります。浜街道や飾磨街道等の古道を歴史街道軸として位置付け、街道沿いの歴史的町並みを保全するとともに、地域に散在する歴史文化遺産を散策、回遊できる歴史・文化ネットワークの形成を図ります。

② 土地利用

ア 商業系

- ・山陽飾磨駅周辺を拠点商業業務地、JR英賀保駅、山陽妻鹿駅・西飾磨駅周辺を商業業務地として位置付けます。公共交通の利便性等にも配慮しながら、商業施設や生活利便施設を誘導します。また、都市軸を形成する飾磨幹線についても、沿道型の商業業務地として位置付けます。

イ 工業系

- ・緩衝緑地以南の臨海部では、都市活力の源となる工業地の形成を図ります。大規模事業所跡地は既存工場等の移転用地や新たな企業立地のための産業用地として位置付けます。
- ・生活環境影響調査を実施し、周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について支障がないと認められる廃棄物処理施設等については、その土地利用を図ります。

ウ 住宅系

- ・海岸線（国道250号）沿道や地域中央を南北に連絡する宮線沿道等の複合住宅地では、住・商・工をともに許容した土地利用を図ります。
- ・一般住宅地では、適切な土地利用の誘導を通じて良好な市街地の形成を図ります。
- ・J R 英賀保駅周辺地区土地区画整理事業を推進し、都市施設が整った低層住宅地の形成を図ります。

エ 保全系

- ・甲山等の市街地に近接する丘陵は、良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

③ 都市施設

ア 交通施設

ア) 公共交通

- ・山陽飾磨駅では、駅北側の駅前広場から改札口が利用しにくく、バスや自家用車等からの乗換え利便性が低いといった利用上の課題に対して、改善策を検討します。また、姫路港と山陽飾磨駅とを公共交通で連絡し、アクセス性の向上を図ります。
- ・山陽妻鹿駅における駅前広場の整備に引き続き、交通結節機能の強化を図ります。
- ・英賀保駅南北の移動円滑化及び北側からの利用環境改善を目的として駅の橋上化を促進します。

イ) 道路

- ・播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路網の早期実現を促進します。
- ・外環状道路を構成する海岸線（国道250号）並びに大日線及び中央南北幹線等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。
- ・J R 英賀保駅周辺のバリアフリー化を推進します。

イ 公園・緑地

- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。また、英賀保駅周辺地区土地区画整理事業の進展にあわせて、身近に利用できる都市公園の整備を推進します。

ウ 下水道・河川

- ・中部処理場など老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図るとともに、英賀保駅周辺地区の土地区画整理地内では、事業の進展にあわせて未整備区域の解消を図ります。

- ・二級河川である市川、船場川、水尾川、夢前川、野田川については、河川整備計画等に基づき、計画的な河川改修や適切な維持管理を促進します。

④ 防災

- ・地域防災拠点として飾磨支所、高浜総合公園、飾磨中部中学校、津田公園を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・避難対象地区では、南海トラフ地震が発生した場合に津波による浸水被害が想定されるため、地域住民等が参画した津波避難計画を策定するとともに、津波避難計画に基づく避難場所や避難路の確保を図ります。
- ・飾磨区御幸周辺及び飾磨区大浜周辺においては、老朽化した木造家屋が密集し、地震発生時の建物倒壊や延焼危険度が高いため、生活道路の拡幅とともに、地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。
- ・津波接近時の安全対策として、災害時要援護者や救助活動に従事する者等が緊急的に一時避難するための津波避難ビルの確保を推進します。

⑤ 景観

- ・山陽飾磨駅以南に残る歴史的町並みを、歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、港町等の歴史的景観の保全、継承を図ります。
- ・景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。



凡		例		
土地 利用		都 市 施 設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	自転車レーン等整備路線

■ 飾磨ブロックの将来像